

双葉町復興まちづくりの定義

【本日の論点】 双葉町の「復興」の定義づけを決めることが必要

(案) 双葉町の「復興まちづくり」とは、

- 町民一人一人が生活再建を果たしていく短中期的な「復興」(人の復興)
- 双葉町の土地を復旧・復興し、町を再興させていく長期的な「復興」(町の復興)の二つの「復興」を含む概念とします

双葉町復興まちづくりの基本方針

【本日の論点】 計画の柱は、基本理念にあわせて、大きく3つにしてはどうか

(案) 帰還の目標

双葉町への帰還は、町民の安全・安心を最優先に考え、帰還に当たっての放射性物質の除去は、年間追加被ばく線量が1ミリシーベルト以下になることを目指します。その時間を考慮して、帰還の目標を暫定的に30年後とします。

町民一人一人の生活再建を実現します

- 双葉町へ帰還が可能となるまで、町民一人一人が避難先で生活再建が実現できるようにします。
- 町民の置かれている状況が多様であることを踏まえて、多様な選択肢を示して、町民のニーズにあった生活再建を支えていきます。
- 家族の営みや生活を成り立たせるための住居と仕事を確保します。
- 健康な生活、就学、医療が適切に受けられる環境を整備します。
- 町民の生活再建の原資となる賠償が迅速、確実、十分になされるように国、東京電力に求めます。

双葉町民のふるさとへの帰還を目指します

- 双葉町への帰還は、町民の安全・安心を最優先に考えます。
- 徹底した放射性物質の除去を進めます。
- 福島第一原子力発電所の廃炉作業の安全確保を国、東京電力に求め、帰還する町民が新たな放射性物資の漏出に脅かされないようにします。
- 帰還が長期化する中であっても、双葉町の土地の荒廃を防ぎ、町民の皆さんの「ふるさと双葉町」への思いをつなぎ、将来の子供たちに双葉町を引き継ぎます。

町民のきずなを維持・発展します

- 全国に散らばっている町民のきずなを維持し、新たなコミュニティをつくります。
- ふるさとを奪われる中であっても双葉町の歴史・伝統・文化は確実に継承します。
- この事故の情報を共有し、その教訓を全国・世界に発信します。

これらを行政と町民が協働して、町民の力を結集した、町民主体の復興を目指します